

たんぽぽのはっぱ

家庭訪問お世話になりました。

家庭訪問大変お世話になりました。お忙しい中にもかかわらず、お時間をとって頂きました。本当にありがとうございました。また、時間通りにお伺いできなかったときでも、あたたかく迎えてくださいました。感謝いたします。お話しした内容を、これからの生徒との関わり合いで生かしていきます。

家庭訪問では、主に学習に対する話題が多くでした。中3になってからでは遅い、今からしっかりと準備をして欲しい、という思いを感じました。また、具体的な高校の名前を挙げながら、話し合いをしたご家庭もありました。いずれにせよ、重要なことは夢をもつことであると思います。もっと言えば、どんな人間になりたいか、どんな風に生きたいか……。そんな自分自身の将来を思い描いていくことが本当に重要なのではないかと思います。中2のこれからの活動でも、職業調べやチャレンジウィークに向けて自分の人生について考えていきます。

私は中学生の時、親に言われたことがあります。「家にはお金が無いから私立は無理。だから公立にしなさい。家を継ぐことは考えなくてよい。もう着物業界はしぼんでいく業界だから。特におまえは次男だから自分でお金を稼いで自分で税金を払えるように、自分で人生を切り拓くように。」と母親からピシヤリと言われた覚えがあります。何の経緯でそんな話になったかは忘れてしまいましたが、やけに現実的な話にとまどった覚えがあります。

時に親に反発し、「なんで一こんな家、ふざけんなー。」と心で思いましたが、母親からきっぱりと言い切られていますから、それを受け入れざるを得ない自分がいました。今となって考えてみると、この母親の言葉には、あるポイントがありました。

- ①「着物業界はしぼんでいく。」→社会の流れを読みとく事の重要性。
- ②「自分で人生を切り拓く」→自分で考えながら生きることの楽しさ。
- ③「お金が無い」→世の中どうにもならないことがあるものだ。

中学生の私は、母親の言葉から、そんなことを感じ取っていたのだと思います。母親が示してくれたこの言葉に従い、思えば母親の思うつぽになって今の私があるような気がいたします。

35歳になった今でも、実家に帰ると靴をそろえろ、人にあいさつをしろ、ちゃんと仕事をしろなど、小言が絶えないかあちゃんです。

これから生徒達に呼びかけていきたいこと。

授業を生かす。

一日一日を積み上げる。

友人関係を大切にする。